

## 平成19年度化学物質管理目標等報告の概要

県では、人の健康や動植物の生息、生育に影響を及ぼすおそれのある354種類の化学物質について、環境への排出量を削減するため、「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」（以下「条例」といいます。）に基づく制度により、事業者に対して化学物質の管理目標の設定とその達成状況等の報告を求めています。

このたび、平成19年度に事業者から報告があった管理目標の設定と目標の達成状況等について取りまとめましたので、お知らせします。

### 1 報告状況

平成19年度、条例に基づき、県域<sup>※1</sup>全体で1,034事業所<sup>※2</sup>（前年度1,039事業所）から、化学物質の取扱い量（使用量及び製造量）及び管理目標、その達成状況について報告がありました（図1）。

なお、報告事業所のうち、35事業所は化管法届出対象外となったため、目標の達成状況のみの報告となっています。

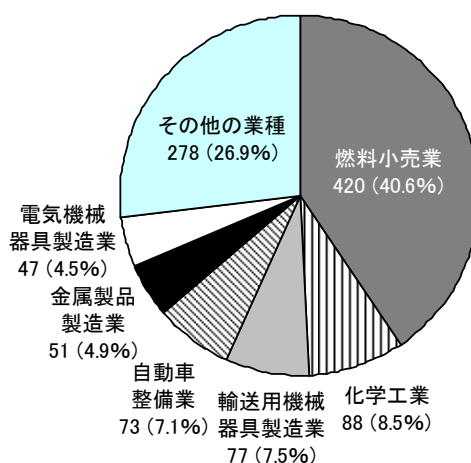


図1 業種別報告事業所数

※1 条例の適用外である横浜市及び川崎市を除いた地域をいいます。

※2 「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（以下「化管法」といいます。）の届出事業者を対象としています。

### 2 化学物質の取扱い状況

条例に基づく事業所における化学物質の取扱い量（使用量及び製造量）の報告、化管法に基づく環境への排出量、下水道等への移動量を集計したところ、平成18年度の県域における化学物質の取扱い量294,376トンのうち、製品などとして280,304トン（95.2%）が使用され、環境への排出量は6,517トン（2.2%）でした（図2）。

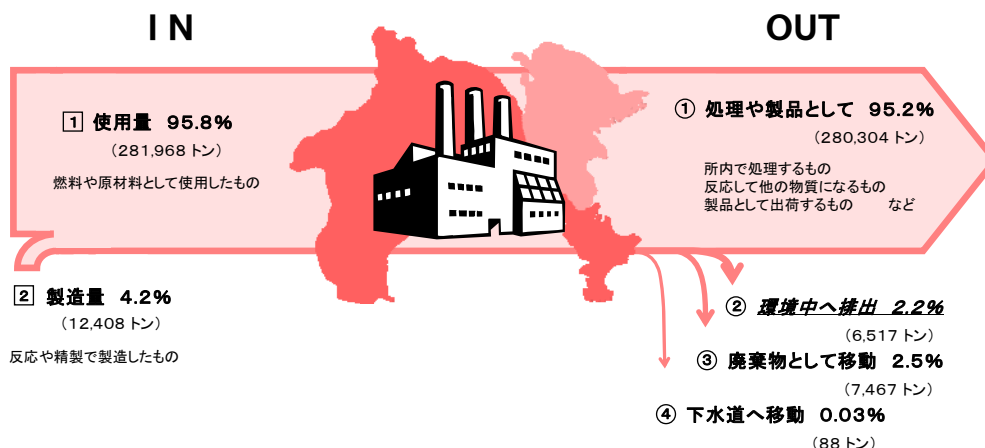


図2 県域における化学物質の取扱い状況

### 3 平成18年度の化学物質管理目標の達成状況と平成19年度の目標

#### (1) 排出量

平成18年度の管理目標（排出量削減目標）は、平成17年度の排出量から160トン削減するという目標が設定されていましたが、実績<sup>※1</sup>として582トン削減されましたので、目標を達成しました（図3）。

また、平成19年度の管理目標（排出量削減目標）は、平成18年度の排出量から155トン削減される目標となっています。目標が達成されると、平成19年度の排出量は6,362トンとなり、平成18年度と比較して2.4%削減されることとなります（図3）。

※1 削減実績は化管法届出排出量を用いています（以下同じ。）。

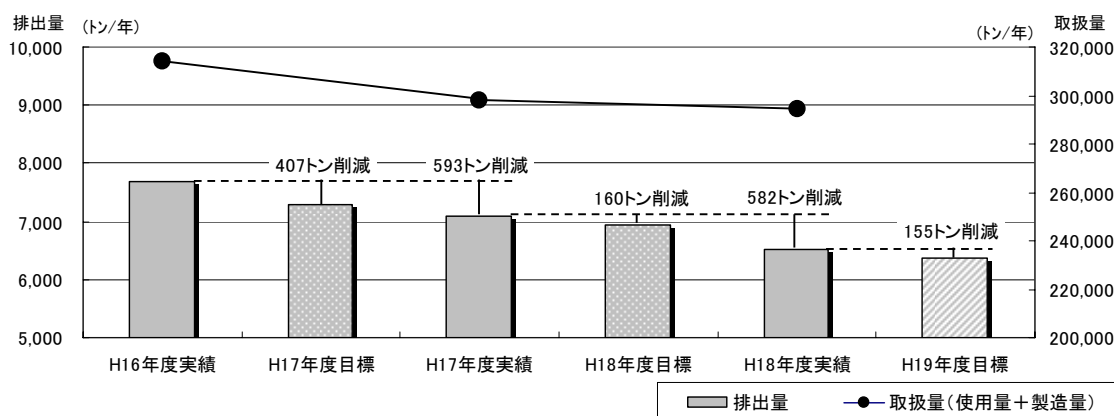
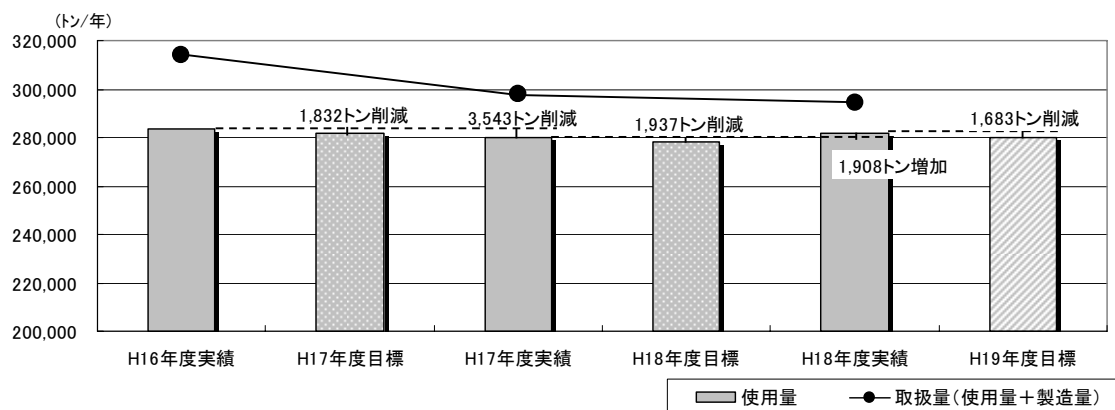


図3 排出量の削減目標と実績

#### (2) 使用量

平成18年度の管理目標（使用量削減目標）は、平成17年の使用量から1,937トン削減するという目標が設定されていましたが、結果として1,908トン増加したため、目標を達成しませんでした（図4）。一方、取扱量（使用量に製造量を加えた量）は、平成17年度と比較して3,286トン削減されました。

また、平成19年度の管理目標（使用量削減目標）は、平成18年度の使用量から1,683トン削減される目標となっています。目標が達成されると、平成19年度の使用量は280,285トンとなり、平成18年度と比較して0.6%削減されることとなります（図4）。



※ 報告ミスがありましたので、H17年度実績はこれまでの289,915トンから280,059トンに、H18年度目標はこれまでの287,978トンから278,122トンに、それぞれ修正しました。

図4 使用量の削減目標と実績

### (3) 物質別の管理目標について

#### ア 排出量

物質別の平成 18 年度の管理目標（排出量削減目標）の達成状況については、合成原料や溶剤などとして使用されているトルエンは目標を達成しませんでした。キシレン、エチルベンゼン、脱脂洗浄剤や溶剤などとして使用される塩化メチレンは目標を達成しました。特に、削減目標が2番目に大きかったキシレンは目標の 10 倍以上削減されました。

平成 19 年度の目標の設定状況については、削減目標の多いトルエン（121 トン削減）、塩化メチレン（18 トン削減）の 2 物質で削減目標全体の約 9 割を占めています。

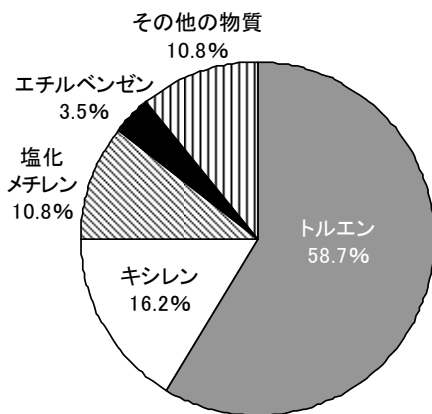
平成18年度管理目標（排出量削減目標）の達成状況《排出量削減目標順》

物質名	H18削減目標	H18削減実績 <sup>※2</sup>	達成状況
① トルエン	94トン/年	48トン/年	未達成
② キシレン	26トン/年	359トン/年	達成
③ 塩化メチレン	17トン/年	181トン/年	達成
④ エチルベンゼン	6トン/年	49トン/年	達成
● その他の物質	17トン/年	-55トン/年	未達成
● 全物質計	160トン/年	582トン/年	達成

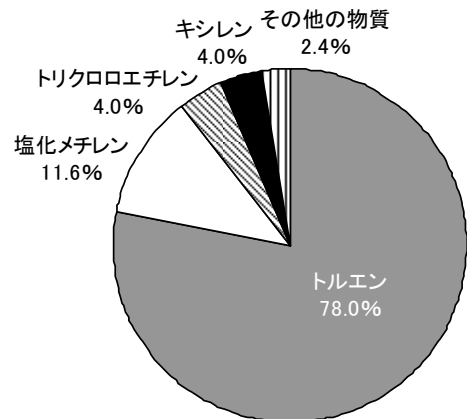
※2 平成 17 年度の排出量から平成 18 年度の排出量を引いた値です（以下同じ。）。

平成19年度管理目標（排出量削減目標）の設定状況《排出量削減目標順》

物質名	H19削減目標	【参考】排出量の実績と目標	
		H18排出量(実績)	H19排出量(目標)
① トルエン	121トン/年	2,587トン/年	2,466トン/年
② 塩化メチレン	18トン/年	406トン/年	388トン/年
③ トリクロロエチレン	6トン/年	76トン/年	70トン/年
④ キシレン	6トン/年	2,108トン/年	2,102トン/年
● その他の物質	4トン/年	1,340トン/年	1,336トン/年
● 全物質計	155トン/年	6,517トン/年	6,362トン/年



物質別排出量削減目標の割合  
(平成 18 年度)



物質別排出量削減目標の割合  
(平成 19 年度)

## イ 使用量

物質別の平成 18 年度の管理目標（使用量削減目標）の達成状況については、殺菌剤や有機合成原料として使用されるエチレンオキシド、トルエン、自動車用不凍液や冷却剤などとして使用されるエチレングリコールで目標を達成しませんでした。脱脂洗浄剤や溶剤などとして使用される塩化メチレンは目標を達成しました。

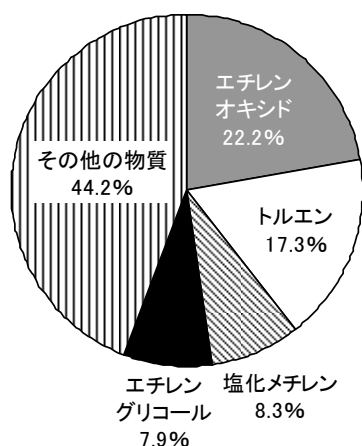
平成 19 年度の目標の設定状況については、前年度に引き続きエチレンオキシド（430 トン削減）の削減目標が最も大きくなっています。

平成18年度管理目標（使用量削減目標）の達成状況《使用量削減目標順》

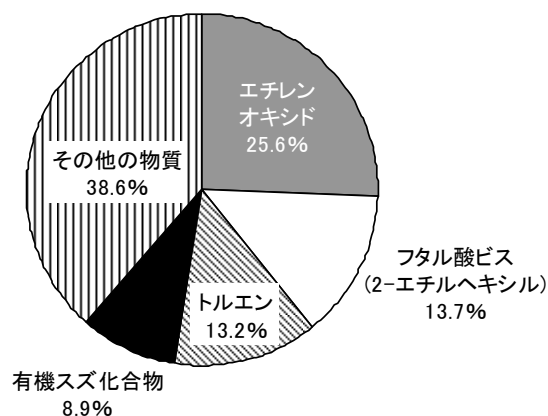
物質名	H18削減目標	H18削減実績	達成状況
① エチレンオキシド	430トン/年	1トン/年	未達成
② トルエン	336トン/年	-2,631トン/年	未達成
③ 塩化メチレン	161トン/年	228トン/年	達成
④ エチレングリコール	154トン/年	-197トン/年	未達成
● その他の物質	856トン/年	691トン/年	未達成
● 全物質計	1,937トン/年	-1,908トン/年	未達成

平成19年度管理目標（使用量削減目標）の設定状況《使用量削減目標順》

物質名	H19削減目標	【参考】使用量の実績と目標	
		H18使用量(実績)	H19使用量(目標)
① エチレンオキシド	430トン/年	12,002トン/年	11,572トン/年
② フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	230トン/年	4,863トン/年	4,633トン/年
③ トルエン	222トン/年	97,941トン/年	97,719トン/年
④ 有機スズ化合物	150トン/年	1,005トン/年	855トン/年
● その他の物質	651トン/年	166,157トン/年	165,506トン/年
● 全物質計	1,683トン/年	281,968トン/年	280,285トン/年



物質別使用量削減目標の割合  
(平成 18 年度)



物質別使用量削減目標の割合  
(平成 19 年度)

#### (4) 用途別の管理目標について

##### ア 排出量

用途別の平成 18 年度の管理目標（排出量削減目標）の達成状況については、「溶剤、塗料など」や「高分子、ゴム、プラスチックなど」で目標の4倍以上削減されましたが、「洗浄、界面活性剤など」は目標を達成しませんでした。

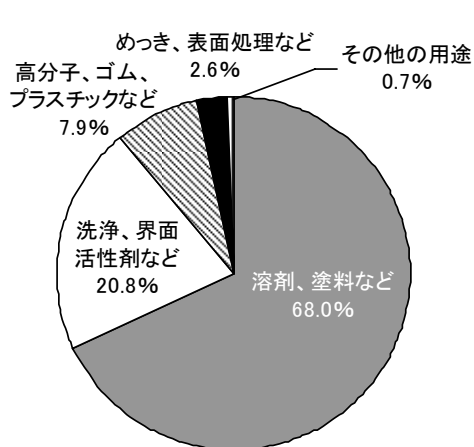
平成 19 年度の目標の設定状況については、前年度と同様、「溶剤、塗料など」（124 トン削減）、「洗浄、界面活性剤など」（25 トン削減）及び「高分子、ゴム、プラスチックなど」（6 トン削減）の削減目標が大きくなっています。

平成18年度管理目標（排出量削減目標）の達成状況《排出量削減目標順》

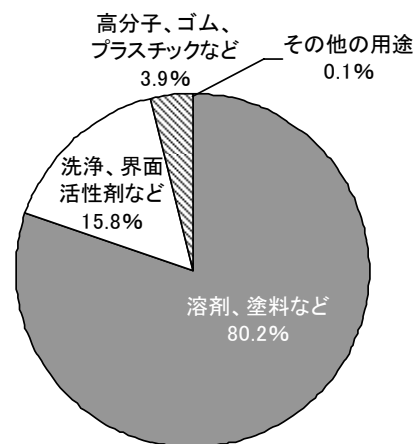
用途名	H18削減目標	H18削減実績	達成状況
① 溶剤、塗料など	109トン/年	478トン/年	達成
② 洗浄、界面活性剤など	33トン/年	-4トン/年	未達成
③ 高分子、ゴム、プラスチックなど	13トン/年	83トン/年	達成
④ めっき、表面処理など	4トン/年	13トン/年	達成
● その他の用途	1トン/年	12トン/年	達成
● 全用途計	160トン/年	582トン/年	達成

平成19年度管理目標（排出量削減目標）の設定状況《排出量削減目標順》

用途名	H19削減目標	【参考】排出量の実績と目標	
		H18排出量(実績)	H19排出量(目標)
① 溶剤、塗料など	124トン/年	5,438トン/年	5,314トン/年
② 洗浄、界面活性剤など	25トン/年	572トン/年	547トン/年
③ 高分子、ゴム、プラスチックなど	6トン/年	122トン/年	116トン/年
● その他の用途	0トン/年	385トン/年	385トン/年
● 全用途計	155トン/年	6,517トン/年	6,362トン/年



用途別排出量削減目標の割合  
(平成 18 年度)



用途別排出量削減目標の割合  
(平成 19 年度)

## イ 使用量

用途別の平成 18 年度の管理目標（使用量削減目標）の達成状況については、「溶剤、塗料など」や「洗浄、界面活性剤など」、「めっき、表面処理など」は目標を達成しませんでした。が、「高分子、ゴム、プラスチックなど」は目標の 10 倍以上削減されました。

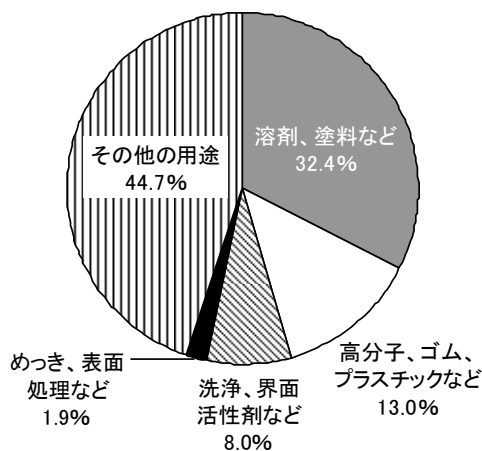
平成 19 年度の目標の設定状況については、有機合成原料や医薬品原料、添加剤などの「その他の原料」（701 トン削減）の削減目標が最も大きくなっています。

平成18年度管理目標（使用量削減目標）の達成状況《使用量削減目標順》

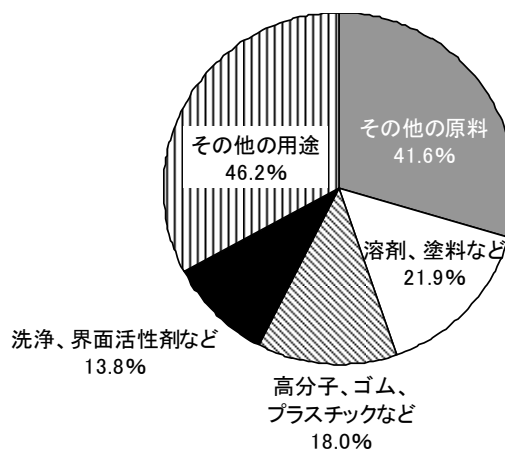
用途名	H18削減目標	H18削減実績	達成状況
① 溶剤、塗料など	628トン/年	-1,218トン/年	未達成
② 高分子、ゴム、プラスチックなど	252トン/年	2,631トン/年	達成
③ 洗浄、界面活性剤など	156トン/年	149トン/年	未達成
④ めっき、表面処理など	36トン/年	-241トン/年	未達成
● その他の用途	865トン/年	-3,229トン/年	未達成
● 全用途計	1,937トン/年	-1,908トン/年	未達成

平成19年度管理目標（使用量削減目標）の設定状況《使用量削減目標順》

用途名	H19削減目標	【参考】使用量の実績と目標	
		H18使用量(実績)	H19使用量(目標)
① その他の原料	701トン/年	44,070トン/年	43,369トン/年
② 溶剤、塗料など	368トン/年	45,079トン/年	44,711トン/年
③ 高分子、ゴム、プラスチックなど	304トン/年	24,237トン/年	23,933トン/年
④ 洗浄、界面活性剤など	233トン/年	2,902トン/年	2,669トン/年
● その他の用途	77トン/年	165,680トン/年	165,603トン/年
● 全用途計	1,683トン/年	281,968トン/年	280,285トン/年



用途別使用量削減目標の割合  
(平成 18 年度)



用途別使用量削減目標の割合  
(平成 19 年度)

## (5) 業種別の管理目標について

### ア 排出量

業種別の平成 18 年度の管理目標（排出量削減目標）の達成状況については、化学工業及び輸送用機械器具製造業では大幅に削減されて目標を達成し、特に輸送用機械器具製造業では 20 倍以上削減されました。しかし、ゴム製品製造業及び出版・印刷・同関連産業では前年度よりも増加し、目標を達成しませんでした。

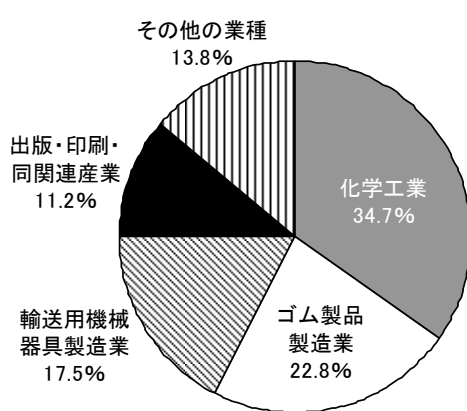
平成 19 年度の目標の設定状況については、ゴム製品製造業（104 トン削減）が全体のほぼ7割程度を占めています。

平成18年度管理目標（排出量削減目標）の達成状況《排出量削減目標順》

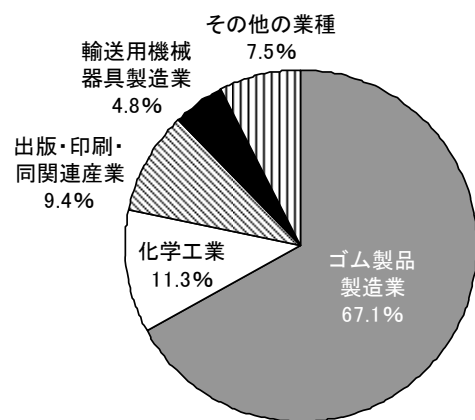
業種名	H18削減目標	H18削減実績	達成状況
① 化学工業	56トン/年	93トン/年	達成
② ゴム製品製造業	37トン/年	-78トン/年	未達成
③ 輸送用機械器具製造業	28トン/年	571トン/年	達成
④ 出版・印刷・同関連産業	18トン/年	-23トン/年	未達成
● その他の業種	21トン/年	19トン/年	未達成
● 全業種計	160トン/年	582トン/年	達成

平成19年度管理目標（排出量削減目標）の設定状況《排出量削減目標順》

業種名	H19削減目標	【参考】排出量の実績と目標	
		H18排出量(実績)	H19排出量(目標)
① ゴム製品製造業	104トン/年	719トン/年	615トン/年
② 化学工業	17トン/年	541トン/年	524トン/年
③ 出版・印刷・同関連産業	15トン/年	111トン/年	96トン/年
④ 輸送用機械器具製造業	7トン/年	3,512トン/年	3,505トン/年
● その他の業種	12トン/年	1,634トン/年	1,622トン/年
● 全業種計	155トン/年	6,517トン/年	6,362トン/年



業種別排出量削減目標の割合  
(平成 18 年度)



業種別排出量削減目標の割合  
(平成 19 年度)

## イ 使用量

業種別の平成 18 年度の管理目標（使用量削減目標）の達成状況については、化学工業で目標を達成しませんでした。輸送用機械器具製造業、ゴム製品製造業及び電気機械器具製造業では逆に大幅に削減されて目標を達成しました。特に輸送用機械器具製造業では目標の 3 倍以上、電気機械器具製造業では目標の 20 倍以上削減されました。

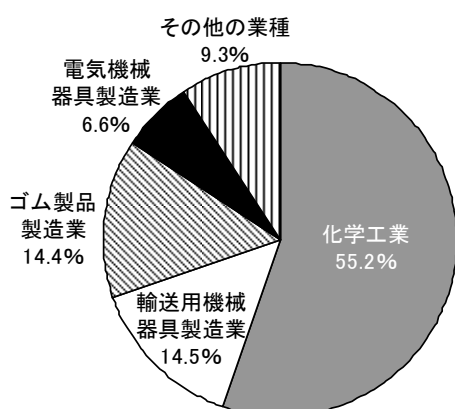
平成 19 年度の目標の設定状況については、化学工業（1,099 トン削減）及びゴム製品製造業（252 トン削減）が前年度とほぼ同じくらいの削減目標を制定しています。

平成18年度管理目標（使用量削減目標）の達成状況《使用量削減目標順》

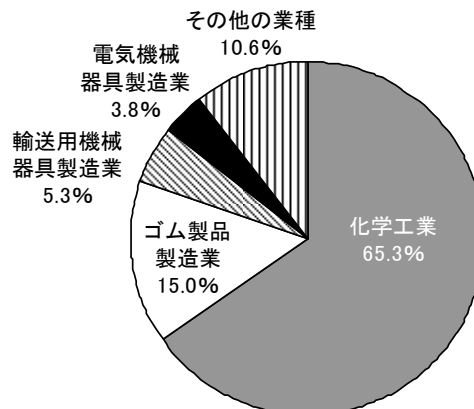
業種名	H18削減目標	H18削減実績	達成状況
① 化学工業	1,069トン/年	-1,566トン/年	未達成
② 輸送用機械器具製造業	282トン/年	850トン/年	達成
③ ゴム製品製造業	279トン/年	427トン/年	達成
④ 電気機械器具製造業	128トン/年	2713トン/年	達成
● その他の業種	179トン/年	-4,332トン/年	未達成
● 全業種計	1,937トン/年	-1,908トン/年	未達成

平成19年度管理目標（使用量削減目標）の設定状況《使用量削減目標順》

業種名	H19削減目標	【参考】使用量の実績と目標	
		H18使用量(実績)	H19使用量(目標)
① 化学工業	1,099トン/年	81,503トン/年	80,404トン/年
② ゴム製品製造業	252トン/年	5,228トン/年	4,976トン/年
③ 輸送用機械器具製造業	89トン/年	14,270トン/年	14,181トン/年
④ 電気機械器具製造業	65トン/年	9,476トン/年	9,411トン/年
● その他の業種	178トン/年	171,491トン/年	171,313トン/年
● 全業種計	1,683トン/年	281,968トン/年	280,285トン/年



業種別使用量削減目標の割合  
(平成 18 年度)

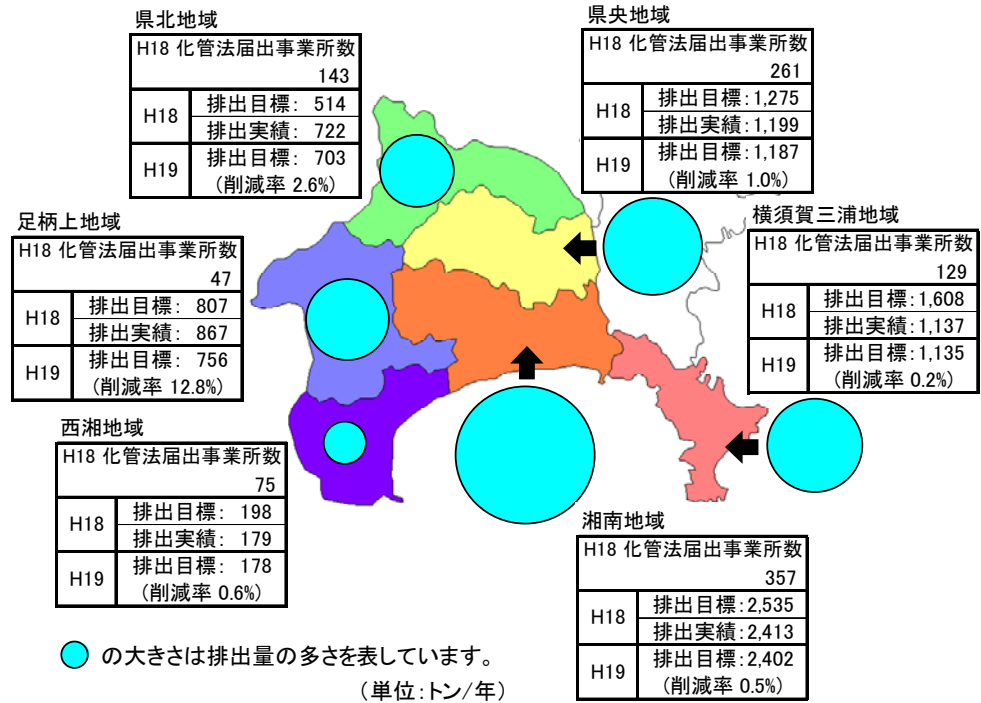


業種別使用量削減目標の割合  
(平成 19 年度)



#### 4 地域別の排出状況

地域県政総合センター所管地域別の平成18年度の排出実績及び平成19年度の排出目標などは次のとおりです。1事業所あたりの排出量が最も多い地域は足柄上地域、次いで横須賀三浦地域でした。



※ 図中の削減率とは、平成18年度排出実績に対して、どれだけ削減するかを割合で示したものです。